



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第177号

2007年8月2日

みなさん、こんにちは。企画展を直前に控え、文博は準備でざわざわしています。

## ● 博物館実習をしています。

学芸員資格を取得するためにはいくつかの方法がありますが、大学で学芸員課程を履修し、博物館で実習するという道もあります。未来の学芸員を目指す学生さんが神戸や京都から14人、文博に実習にやってきました。

彼らは3つのグループに分かれ、夢の企画展を企画するという課題が出されました。図書室で調べものをしていて、



図書室で調べもの中

小学校の教科書を発見して、掲載されている懐かしい詩や小説について語り合う一幕も。彼らはどんな企画展を考えるのでしょうか。

## ● 企画展まであと2日！ いよいよ設営が始まりました。

次回企画展「祝・百寿 渡辺うめ人形展」まであと二日。展示室の設営が始まりました。木製の展示台に、協力社さんがチラシと同じ淡いグレー色のシートを貼る動きには全くよどみがなく、まさに職人芸です。各地からお借りした人形も文博に揃いました。人形は桐の箱に大事に収められています。箱の開封が待ち遠しいです。

展示室の外でも、グッズを販売するためのテーブルが出され、書籍やビデオ、ポストカード等が並べられました。



展示台を並べています



桐の箱の山です



うめさんグッズを販売します

学芸員実習の学生さんを見ると、昔の自分を思い出して懐かしい気持ちになりました。学生さんは企画展準備という滅多に見られない機会に立会い、人形を搬入するトラックを静かに見学していました。